

金沢支部は1988（昭和63）年に設立された。その前身である大学婦人会は、戦後の経済的にも精神的にもまだ不安定であった1950（昭和25）年に結成された。

そして金沢支部設立のために解散するまでの38年間、独自の活動を続けてきた。

その時代の会員が中心となり（社）大学婦人協会に加入して以来、その目的に沿う様に活動を続けている。

2008（平成20）年（社）大学女性協会と名称変更

## 2015年までの活動

### ■国際教育支援

1. K J S 奨学金 インド・カシミールの女子学生に奨学金を贈るための基金に協力  
(チャリティ活動として収益金を寄付) →現在も継続中

茶 会 お煎茶・お抹茶とお話の会

見学会 「モンゴルの住居ゲルを訪ねて」

鑑賞会 「インドのタペ」

2. タイ バンコクにあるドワン・プラティープ財団の教育里親事業に協力して、女子学生に奨学金を贈る。(毎年) →2020年終了

3. インド・タイの地震へのお見舞いのために募金活動をし、プラティープ財団、カシミールの関係大学の被害者に贈呈

### ■公開講演会

## ■研究会

1. 壁画に見る中世からルネッサンスへの変革（金沢大学 宮下孝晴 教授）
2. 千 利休（山村福子会員）
3. 安心と戸惑いと一晩鳥 敏に聴く（金沢ふるさと偉人館 松田章一 館長）
4. 熟年留学生の目から見た韓国文化（建築家 安原武彦氏）
5. インド最新事情—経済発展に伴う社会変動を中心に—（サルフィ・マハド・ファルーク氏）
6. 「ハリー・ポッター」に見るハーマイオニの闘い（木梨由利会員）
7. 「統一を果たした EU と今後の課題（金沢星稜大学学長 早瀬 勇 氏
8. 「茶の湯の心」（山村福子会員）
9. 「辻家庭園見学と青木怜子先生の講話」（青木 怜子 元 IFUW・JAUW 会長）
10. 「女性の自立としての起業考察—石川県の事例—」（萩原 扶未子 会員）
11. 「石川経済の強さ課題」（日経新聞金沢支局長 岡本文雄 氏）
12. 「伝統と創造—企業内教育とひとづくりの事例—」（ラボ・ディレクション代表 笹原晴博 氏）
13. 「ハリーポッター」物語における愛の意味（木梨由利会員）
14. 中世日本の文学—『歎異抄』を中心に—（山村福子会員）
15. 心の健康とストレスマネジメント（金城大学教授、平口真理氏）
16. 「加賀百万石の味文化」（金沢学院大学教授 陶 智子 氏）
17. 「赤と黒」について—EU 作家としてのスタンダード（金沢大学国際学類教授 粕谷 雄一 氏）
18. 「街の色は市民の色」（金沢美術工芸大学名誉教授 山岸 政雄 氏）
19. 「“代理懐胎と法律上の『母』”について」（金城大学社会福祉学部専任講師 春名 麻季 氏）

20. 「戦中・戦後を生きて」(元金沢女子短期大学教授 対馬 ヌキ子 会員)

21. 「古典に学ぶ―方丈記を中心に―」(山村福子会員)

22. 幻想を育む街・金沢―三島由紀夫・吉田健一・古井由吉の文学―

(金沢学院大学文学部准教授 寺田達也 氏)

23. 「漆器とお茶と」(株式会社「能作」(創業安永9年{1780年}) 代表取締役社長 岡 能久

(よしひさ)氏

24. 「昆布の道と北前船」(金沢大学人間社会研究域歴史言語文化学系教授 古畑 徹 氏)

25. 「犀星の金沢」(講師： 前金沢女子短期大学教授 元犀星記念館館長 笠森 勇 氏)

26. 「女性を議会へ！全国キャラバン 2015 統一地方選を前に in 石川」

共催：(公財) 市川房枝記念会女性と政治センター

## ■研修旅行

A. 塗り物・焼き物の里を訪ねる

① うるしの里輪島を訪ねて

② 古窯の故里 越前陶芸村を訪ねて

B. 文学・歴史散歩

① 越中万葉の旅―高岡・氷見を訪ねて

② 百万石の城下町金沢での集い

③ 生誕300年 加賀の千代女の足跡を訪ねて

④ 小松の成り立ちと芭蕉の歩いた道を辿る

⑤ 敦賀に芭蕉の足跡を訪ねて

- ⑥ 加賀百万石横山家の歴史と小松近代化の先人を訪ねて
- ⑦ 小松歴史探訪の旅（小松市埋蔵文化財センター、錦山窯、東酒造）
- ⑧ 「中村記念美術館と鈴木大拙館を訪ねて」
- ⑨ 「県立九谷焼美術館、北前船の里資料館、蔵六園見学」講師：学芸員とボランティアガイド
- ⑩ 「石川県指定名勝「西田家庭園・玉泉園」鑑賞・会食と懇談庭園解説：西田氏」

#### C. タイ国訪問ボランティアの旅

#### ■その他

- 1. 新年会 外国のお客様を招待してお国事情を聴く
- 2. 支部総会
- 3. 展示会 「草原の国モンゴルの風土と生活展」
- 4. 年末寄付の募金 国内外の施設等に贈呈
- 5. 会員の節目の年（喜寿・米寿など）にお祝いの品を贈る
- 6. K I S奨学金基金は1999年7月20日の設立以来、（一社）大学女性協会金沢支部と  
金沢支部会員の皆様、その他有志の方からの寄付金を基金として、その利息を毎年カシミールのナワカダルカレッジとスリナガルカレッジの女子学生に奨学金として支給しております。  
※一人500ルピー／月×10ヶ月（学校がお休みの2ヶ月は支給無し）  
※（一社）大学女性協会金沢支部からはチャリティー茶会等を含めて累計1,262,977円の寄付をして頂いており、KJS奨学金基金は金沢支部の大きな事業となっております。

（基金総額400万円）